



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろするろ〜ど

2017/12月号

かいほうし
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ 仲良く助け合っ
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、ねが 活動をつづ
つづけています。

〜サロン月間カレンダー12月〜

「新しいバルトホールで〈サロンの集い〉」

■サロンでお茶会

すいようご 水曜午後ボランティア
いちむらひでこ 市村秀子

- 12月1日(金) 午前10時30分〜12時
絵手紙教室 (費用100〜200円)
- 12月8日(金) 午前10時〜12時
消しゴムハンコ教室 (費用200円)
- 12月15日(金) 午前10時30分〜12時
生け花教室 (花代500円) 要予約
- 12月22日(金) 午前10時30分〜12時
ダンス教室

11月18日、ルシーニュ 5階にあるプラッツのバルトホール(カタカナが多くて大変!)で、「サロンの集い」が行われました。バルトホールはルミエールより狭いので、参加者は昨年より100名ほど少ない221名でした。そのため、当然椅子はありません。学習者より少しだけ高齢のボランティアの方々の「座りたいねえ〜。」という声もチラホラ聞こえてきました。しかし、狭いということはそれだけ隣との密着度が高いわけで、顔は知っているけど日頃話をしたことがない人も、お互いの距離が近くなった分話しやすいという利点もあったようです。テーブルを囲んで会場のあちこちで話の花が咲いていました。

- ★対象はサロン学習者またはボランティアの方。
- ★申し込みはサロン事務局まで。

■サロン講演会

- 『日本語教育と国際交流』
- 一日本語を学ぶ外国人の気持ちを体験してみようー
- 日時: 12月9日(土) 14時〜16時
- 場所: サロン3階 第2会議室(学習会の部屋)
- 講師: 小林幸江先生(東京外国語大学名誉教授)
- ★申し込みはサロン事務局に12月6日までに。
詳しくは「みんなの広場」をご覧ください。

「サロンの集い」の楽しみの一つは、何と言って世界料理が食べられること。しかも家庭料理です。今回は12カ国27種類の料理でした。何日も前から食材を用意して、前日から仕込みに入り、当日はフル回転。おかげで、とても美味しい料理を食べることができました。料理班の皆さま、「ごちそうさまでした。」

<研修部会>

- 12月9日(土)に小林幸江先生のサロン講演会が開かれますので、月例の勉強会はお休みします。
- 皆さま奮って講演会にご参加下さい。

そして、もう一つの楽しみはアトラクションです。美しい民族衣装と美しい琵琶の音色、澄んだ歌声、そして華やかな民族舞踊。堪能しました。最後は恒例の学習者とボランティア合体の文化交流部によるフラダンスです。これぞまさに国際交流というひとときでした。

さて、私にとって3回目の「サロンの集い」は、



世界の文化

「起震車を体験して」

クット スレエモーム (カンボジア)

世界で日本は地震が有名です。ですから私の家族と友だちは私に日本へ行ってほしくありませんでした。よく地震があっても、日本のどこでもいいので、私は日本に来たかったです。日本はよく地震があります。日本にすんでいっしょうかんで地震にありました。私はとてもこわくて、何をしたらいいのかわかりませんでした。カンボジアで地震があったことはありませんでした。でもこうずいがありました。また、日本に地震があったら、よくかみにいのったり、インターネットをみたり、いろいろなことをしてこわくならないようにするつもりです。

9月29日(金) ごご2時からサロンで「地震時あなたをまもるほうほう」にかんするプログラムがありました。サロンでは学生にじぶんをまもるほうほうをならいました。そのほうほうは3ステップありました。先生と学生はサロンでれんしゅうにさんかしました。先生はひじょうしょくをくばりました。みんなはれんしゅうでテーブルの下に入りました。

ごご3時ごろから、ひじょうかいだんをあるいておりました。私はひなんくんれんで初めて起震車を見ました。しょうぼうしょの人が起震車のくんれんについてせつめいしました。サロンのいろいろな国から来た学生がくんれんにさんかしました。起震車のれんしゅうは4かいありました。サロンの学生は起震車に4人ずつのりました。起震車のなかにテーブルがありました。テーブルのあしが4つありましたから、4人ずつのりました。起震車はとてもすばらしくて、おもしろかったです。

私は初めて起震車にのりました。起震車がゆれたら、私たちはテーブルの下に入ってしっかりあしをつかみました。私たちはとてもこわかったです。ほんとうの地震のようにつよいゆれでした。私はこのくんれんで地震のときじぶんをまもるほうほうがわかりました。ありがとうございました。

企画部の一員としての参加でした。正直、成行きで企画部員になってしまった私ですが、200名近い人が集まる大きなイベントを少人数の企画部員だけで大丈夫だろうか？当然新入りの私は戦力外だし…と、不安と心配でいっぱいでした。しかし結果は、大きなトラブルもなく大盛況でした。その要因は①「今まで培ってきた経験の積み重ねがあり、企画部以外の多くの先輩ボランティアの方々が、そのノウハウを熟知していたこと」、②「イベントの隅々まで協力してくれる多くの学習者とボランティアの方々がいたこと」この二点に尽きると思います。

ともあれ、一から十まで手作りの「サロンの集い」です。企画部だけでなく、多くの人たちの「協力」で作っているのだと、改めて実感した「サロンの集い」でした。

最後に新しいボランティアの方々へアピールしたいと思います。「企画部と一緒に活動してみませんか？ あなたの『協力』を待っています。」



世界の料理

学習者挨拶：アントネッラさん(イタリア)



温さん(台湾)



ミャンマーダンス



ヌルピエさん(ウイグル自治区)



ハワイアンフラダンス

わたし くに がつ
※ 私の国の12月 ※

わたし くに
私のお国じまん ~28~

まえ いわ
「クリスマス前はポサダスの祝い」

わたし ふるさと ちょうかこう
「私の故郷 張家口」

—レカルドさん（メキシコ）より—

アン エイショウ ちゅうごく
安 玥嬌（中国）

「ポサダス」は、家族をはじめ、近所の人たちや友達どうしが集まって祝うクリスマス前の行事だそうです。

イエス・キリストの両親である、マリアとホセが、出産のための場所を見つけるための旅にでていた期間であるクリスマス前の9日間（毎年12月16～24日まで）を祝います。

紙でいろいろな形に作り上げた「ピニャータ」という入れ物の中に、お菓子やフルーツやお金を入れ、「くす玉」のように吊り下げます。目隠しをした子どもたちが「くす玉」を割り、中味を出して楽しむそうです。この期間は、毎日がパーティーだとか!?
(高柳)



じよや かね かい
「除夜の鐘は33回」

ナム かんこく
—南さん（韓国）より—

12月31日の夜0時0分になると、鍾路という場所に多くの人々が集まり、その場所からは、除夜の鐘が33回響き渡るそうです。

日本の除夜の鐘は108回です。「人間には百人の煩惱があり、この煩惱を振り払ってこそ、解脱できる」という仏教の教えからきています。悩みや欲望を持たずに楽しく生きるという願いを込めているのです。

韓国の仏教では、この世の中心である須弥山には33の天があり、そこには33の神々が住んでいるとされています。「33」という数はとても重要な意味をもつのだそうです。

1919年の「31運動」で、33人の知識人が独立のための文書を提出したことも、33回の除夜の鐘の由来のひとつだそうです。
(高柳)

時間が経つのは早いですね。日本へ来てから、もう一年になりました。この間、いろいろな外国人友達ができました。もちろん日本語を勉強しているので、たくさん日本語先生を知るようになりました。友達と先生たちに自己紹介をしているとき、どうやって私を覚えられるかと考えさせられました。

先週サロンの先生は私にくろすろ一ど故郷について紹介してもいいと聞いていました。私はみんなに故郷を紹介するいいチャンスじゃないかと思えます。

私は張家口に生まれました。みなさんにはこの所を覚えるにいくかもしれませんから、心配しないでください。東京2020年のオリンピックを知っているでしょうか。2年後で冬季オリンピックがどこで行われるか知っていますか。私の故郷張家口と北京です。

2015年7月31日にこのニュースが出て来ると、張家口と北京は世界から注目されました。

なぜなら、張家口で開催されますから。

実は、張家口は古くて、中国で小さい町です。2000年前から、人類はここで生息して来ました。今の面積は36800平方キロメートルです。国際的な大型スポーツの競技や開閉式を開催していなかったし、国際オリンピック大会の経験と能力のようなレベルもないし、どうしてこんなに古くて、小さい町で開催されるかわかりますか。張家口の冬は平均温度がマイナス12度で、とても寒いです。山も多し、積雪が山の上にたくさん広がっています。山の勾配が5度から35度までです。たくさんスキー場がありますので、近年、ますます多くの人々がここを訪れます。北京はこんな条件がありません。

それに、張家口から北京まで180キロメートルで

とう ころ 投 稿

よこはまものがたり 「横浜物語」その2

きんよう ご ご よしむら
金曜午後ボランティア 吉村まみ子

「中華街」

よこはま かいこう ねんごろ ちゅうかがい よこはましんでん
横浜が開港された 1859年頃の中華街は横浜新田
と呼ばれ、現在の南門シルクロード、開港道、長安
道はそのあぜ道と言われています。開港当時西洋人
は日本語がわからず、日本人は西洋のことがわか
らなかったので、華僑が西洋人と話し、また日本人と
は漢字でコミュニケーションをとって生糸や茶の
貿易の仲介者の役割を担いました。さらに香港、
上海、台湾の輸入をはじめ貿易港横浜を盛りあげて
いきました。現在中華街は世界中に形成されていま
すが、中でも世界最大規模を誇るのがここ中華街、長
い時間と多くの人々の尽力なくしては語れない、こ
の街の奥深い魅力を体感しましょう。

「横浜テニス発祥記念館」

よこはま はつしょう きねん かん
日本のテニス発祥120年を記念して建てられた。
100年以上前のもくせい たけせい
木製のラケット、1878年と現在
を対比した山下公園の模型など貴重な資料を展示し
ている。

「山手公園」～「山下資料館」

やまてこうえん やましたしりょうかん
明治3年(1870年)当時の居留外国人によって作
られた我が国最初の洋式公園。ヒマヤラ杉が国内で
初めて植えられた。資料館は、明治42年に建てられ
た市内唯一現存する木造西洋館。

「リザーブド クルージング」

よこはまこう れきし さんぎょう うみ うえ たんさく しま
横浜港の歴史と産業を海の上から探索する今と
昔探検クルーズ。ペリーと共に幕末からの開港史を
学ぶ歴史編。コンテナ荷役の現場などを知る産業編
がある。

「元町ショッピングストリート」

よこはまこうじ きりゅうち 暮らし たがいにくじんごうたし みせ
開港当時の居留地に暮らした外国人御用達の店が
集まったことが始まり。今も各店のオリジナルの服、
靴、雑貨が人気です。ファッションの情報発信地。
2月と9月のチャタリングセールがあり全国から多
くの人が集まります。

すけど、^{こうそくてつどう}高速鉄道が2022年にできたら、^{れつしゃ}列車で40分
ぐらいで^い行けるようになります。^{みな}皆さんは、^{ぺきん}北京に住
んで、^{ちやうかこう}張家口へ^{しあひ}試合を見に行けるようになりますよ。

^{ちやうかこう}張家口は^{ちい}小さい町で、^{こくさい}国際オリンピック大会の
^{けいけん}経験と^{のうりよく}能力がありません。でも、^{ぺきん}北京は^{だいじやうぶ}大丈夫です。
それで、この^{ふた}二つの町で、^{とうき}冬季オリンピックを^{きやうどう}共同
で^{かいさい}開催します。

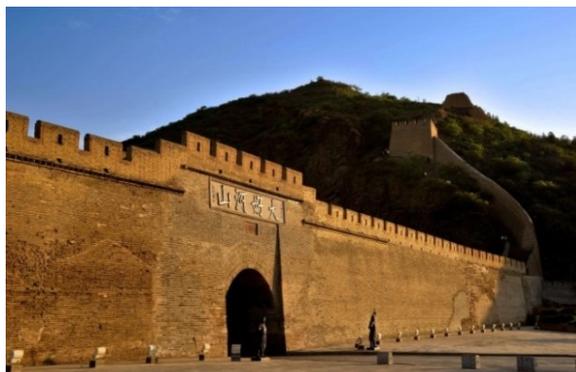
^{みな}皆さん、^{とうきやう}東京のオリンピックの^{ねんご}2年後、^{ちやうか}ぜひ張家
口へ、^{とうき}冬季オリンピックを見に来てください。



ちやうかこうしやうらいけん ねん とうき かいさい
張家口市崇礼県:2022年に冬季オリンピックを開催



ちやうほくそうげん うえ そうげん かぜ つよ ふうりよくはつでんしよ
張北草原(ダム上の草原):風が強く風力発電所になる



かんこうち ちやうかこう だいぎやうもん
観光地:張家口の大境門

みな 皆さんよろしく◇学習者紹介

パク ミョンヒョン さん (韓国)
朴 明賢さん (韓国)



かいせきりょうり す 「会席料理が好きです」

かんこく 韓国ソウル市から来日したのは2014年11月。結婚して、ご主人が東京外国語大学客員教授なので、府中で生活することになりました。それまでの12年間ホテルの予約をとる会社に勤めていたので、出張で、日本、香港、中国、シンガポール、オーストラリア、アメリカ、チェコ、イギリス、フランス、イタリアなど多くの国へ行きました。このように世界の国々に行ったことと、大学で英文学を勉強したので、外国語には、とても興味があります。

つきいつかいかんこく ゆうじん 月一回韓国の友人たちとの読書会では、韓国語のほんやく 翻訳ではありますが、むらかみはるき ひがしのけいご さのようこ の小説を読みました。村上春樹は、小説より、エッセイ集が好きで、その中でも『やがて哀しき外国語』が好きだそうです。

にほんの たべもの では、みた目にも美しく、少しずつ 順々に出てくる会席料理が気に入っています。

にほんご をマスターして、日本で以前と同じようなホテルの仕事をしてみたいと思い、日々、日本語の勉強に励んでいる勉強家の朴さんです。



べん きょう かい ほう こく 勉強会報告

だい かい ~第87回~

ふくすう がくしゅうしゃ たんとう とき たいおう 「複数の学習者を担当した時の対応」

けんしゅうぶかい かよう ゆみ こ
研修部会 萱生由美子

がつ にち べんきょうかい めい さんか ぜんはん 11月25日の勉強会は24名が参加しました。前半では、実際に複数の学習者を教えた経験のある方達から体験を話してもらいました。その一部を御紹介します。

- しよきゅう べんきょう ふたり 初級レベルとN2を勉強している二人だったので、レベルの違いがすぎて大変だった。
- じんふたり かんけい よ たか ひと ベトナム人二人の関係が良く、レベルの高い人が母国語で説明してあげたりして、もう一人の日本語がずい分上達した。
- にゆうもん ちようきたいざいしゃ どちらも入門レベルだったが、長期滞在者と3ヶ月の短期滞在者で、年齢も環境もニーズも全く異なり、一回だけならともかく、マッチングに無理があったと思う。
- ひく ほう ひと あ レベルの低い方の人に合わせる。レベルの高い人は復習のつもりでしてもらおう。学習者同士でなるべく話をさせるようにする。
- とつぜん とき ひ わき 突然の時は、その日だけと割り切ってフリートークにする。
- しょうがくせい だいがくせい ふたり しょうがくせい 小学生と大学生の二人だったが、小学生の勉強を大学生が面白がってやってくれた。
- とつぜんふくすう ひと しけん めざ 突然複数になると、いつもの人(試験を目指している人)が犠牲になる。
- たんとう ぎせい ひと マッチングを担当しているが、単発の場合はその日だけと割り切ってやってほしい。

いじょう 以上のように、基本的には同じレベルの人がやりやすいのですが、ほかの要素(滞在期間、目的、環境等)が違いすぎて合わない場合もあります。また、レベルや環境が大きく違っても上手くいく組み合わせもあり、ケースバイケースという印象です。

しん 新ボラさん こんにちは

すいようごご 水曜午後ボランティア
あらいなみこ 荒井奈美子

こうはん さんにな かた こうりつ よ おし かた しょうかい
後半は、三人の方から効率の良い教え方を紹介
して いただき ました。具体的にはワークシートやゲーム
を利用して楽しく進める方法です。大切な事は、学
習者におお はな 多く話させること、学習者同士のかいわ き
くことも学習になること 等です。皆さんからは、積
極的にグループレッスンを活用すれば、学習者の
にほんご さらに じょうたつ ちからづよ 強いメッセージが伝
わりました (詳細は記録をご覧ください)。

にほん かいがい りょこう す 日本、海外と旅行するのが好きです。古い町並みや
自然の中を歩いたり、地元のおいしい物を探したり
するのが好きです。海外のファーマーズマーケット
などは、とても面白いですね。ぶらぶら見ているだ
けでも興味がつきません。

せんげつゆうじん ぎふ ながらがわう か 先月友人と岐阜、長良川鵜飼いを見してきました。
1300年以上続く伝統的な漁法だそうです。鵜(鳥)
が鮎(魚)を探る姿が、生き生きと誇らしげに見え
ました。不思議な国、日本ですね！後日、大雨警報の
なか い 甚じんくう 中、伊勢神宮でお参りをしてきました。一説による
と雨で厄が落ちるそうですので、さっぱりして帰っ
てきました。(厄の説明は難しいですね。新米の私には
出来そうもありません。辞書→苦しみ、災い、災難
なるほど！)

まいかいにほんご おし たの むずか ちよくめん
毎回日本語を教える楽しさ、難しさに直面してお
りますが、えがお がんぼ 笑顔で頑張っていきたいです。皆さま、
よろしくお願いいいたします。

げつようごご 月曜午後ボランティア
おか きとこ 岡 智子

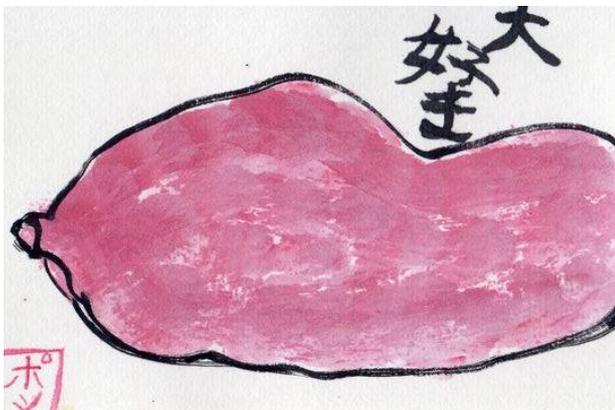
この春、日本語教授法研修 I を受講し 9月からボ
ランティア活動を始めました。新米の私を温かく迎
え入れて下さり、本当にありがとうございます。

にほんご きょうむみ も 日本語ボランティアに興味を持ったきっかけは、
約 9 年間手話を学んだ事でコミュニケーションの
大切さを知り、異文化交流の楽しさに目覚めた事
です。手話とは耳の聞こえない人たちの使う、目で見
る言語の事です。手話を学んでいる事をお話すると、
手話は世界共通なの？と質問されることがありま
すが、手話は国や地域によって違います。

くに ことば ちが ちが ちが 国によって言葉は違っても、笑顔の持つ力は万国
共通ですね。私もサロンの皆さんの笑顔に励まされ
ています。活気があり、和気あいあいとしたサロンの
雰囲気大好きです。

未熟な私ですが、学習者の皆さんが楽しく通える
ように教材や学習方法など工夫していきたいです。

えてがみ
(絵手紙)



ポンちゃん (ラオス)



徐霞 (中国)

にほんご

日本語おちほひろい

～48～

「糸を引く美味しさ!？」

きんようよる わだ やすひろ
金曜夜ボランティア 和田泰弘

金曜夜の学習会で一緒に勉強したベトナムのヒエップさんの結婚式に招かれ、この10月、ハノイを訪れました。式の後、9月までサロンで一緒に学習し、今一時帰国しているホアさんとも会うことができ、一日、ハノイの郊外にある彼女の家に招かれました。歓待を受けた上お父さんから生の南京豆をたくさんお土産にいただきました。

帰国して数日した頃、バターピーナッツ作り(実際にはオリーブ油を使用)に挑戦、出来栄は上々で、濃い味の美味しさに、連れ合いと二人してついパクパクといただきました。「これって、糸を引くね!」とつぶやくと、「それを言うなら、あとを引くでしょ」と返ってきました。確かに、糸を引いても食べられるのは納豆、めかぶ、長芋、オクラ、モロヘイヤ系の薬物で、たいがいは糸を引くと腐敗していて食べられません。「やめられない、とまらない」の『かつばえびせん』も、あとを引く食べ物の典型です。美味しさが、切れ目なくずっと長く続くという意味では、「長い糸のように引く」という表現も、当たらずとも遠からずだと思いますが…。でも、何かの余韻が途切れずに続くという意味では、「あとを引く」が的確ですね。

ベトナム産の南京豆に舌鼓をうちながら、「雑ぜ返す」を「寝た子を起こす」の意味で使っていたり、「意地汚い」とすべきところを「寝汚い」、「たたみかける」を「折りたたむ」と言ってしまうたりと、自他の失敗例に花が咲きました。

後日。連れ合いが電話で「明日は、やんごとない用事で行かれないの…」と話しているのを耳にし、「それを言うなら、よんどころないでしょ、やんごとないは、『源氏物語』にも出てくるけど、貴い身分という意味だよ」と、この間の意趣返しとなりました。それについても、誤りを突っ込まれたときの一本取られた気分はあとを引くものです。あっ、これは「尾をひく」? また、意趣返し…。

わたし 私の☆つぶやき

「おもしろき哉、わが人生」

きんようよる さとむら めぐみ
金曜夜ボランティア 里村 恵

私はこれまでに数々の失敗をし、そのたびに先人の名言、格言を教訓にし猛省をしてはいるのですが、「急いで事は仕損じる」ことにだけはいまだに勝つことができません。

先日も、朝10時のミーティングに遅れまいとあせっているところに、図書館への本の返却はじめいくつかの用件をかかえ、頭の中で「ポスト、ATM、・・・」と繰り返しつつ自転車を走らせていました。そして「あっ、ポストだ!」と目にとまった郵便ポストに返却本を2冊投入してしまいました。しまった、と気づいた時には「ストーン!!」と無情な音をひびかせ大切な本はポストの底へと到達してしまっただけです。

事の次第を説明しておいた本局から、「集荷の中から見つかりました。」と連絡があり、本は無事に手許に戻り事なきを得たのですが、当日の予定を大きく狂わされたことは言うまでもありません。

くじけた私をなぐさめてくれた名言は誰が残された言葉でしょうか。—「失敗の数だけ人生はおもしろい」



みんなの広場

「12月・1月のサロン講演会お知らせ」

東京外国語大学名誉教授の小林幸江先生による「サロン講演会」を12月9日(土)に開催いたします。日本語教育と国際交流という視点から色々とお話をいただき、そのなかで、外国人が日本語を学ぶ際に体験する大変さを、ボランティア側が実際のワークをとおして体験するという内容です。

講演内容:「日本語教育と国際交流」～日本語を学ぶ外国人の気持ちを体験してみよう～

日時:12月9日(土)午後2時～4時

場所:サロン第2会議室(日本語学習会の部屋)



聖心女子大学准教授の岩田一成先生による「サロン講演会」を1月13日(土)に開催いたします。『にほんごこれだけ!』の執筆者の一人である岩田先生のお話とワークショップをとおして、その活用法や留意点を解説していただきます。

講演内容:「対話型活動の進め」

日時:1月13日(土)午後2時～4時

場所:サロン第2会議室(日本語学習の部屋)

*いづれも入場は無料・当日は筆記用具をご用意下さい。申し込みは事務局で受付いたします。是非、奮ってご参加下さい。(編集部)

「サロンの年末年始の日程」

師走に入り、いよいよ今年もあとひと月を残すのみとなりましたが、年末から年始にかけてのサロンの予定は、次のとおりです。

■日本語学習会:12月22日(金)で終わります。

1月10日(水)から始まります。

■サロン事務局:12月28日(木)で終わります。

1月4日(木)から始まります。

(使える時間は午前10時から午後4時までです。)

■第1会議室:12月25日(月)・27日(水)
1月5日(金)が使えます。

(使える時間は、午前10時から午後4時までです。)

■プラッツ内国際交流サロン:

12月28日(木)で終わります。

1月4日(木)から始まります。

(使える時間は、午前9時から午後10時までです。)

*日本語学習や打ち合わせ等で事務局・第1会議室・プラッツを使用したいときは、あらかじめ事務局にお申し出下さい。(編集部)



～編集後記～

年月の経つのは早いもの。私と高柳さんがサロンのボランティアになり、会報部会に入れていただいて満4年が経ちました。

篠塚編集長、坂倉副編集長から和田編集長に代わってからでも3年近い年月が経ちました。

毎月、記事を集め、書き、少しでも楽しい紙面にするべく、全員で努力してきました。

先月より、ボランティアの岩城さんが会報部会に参加され、これからの紙面も、より充実したものになると思います。皆様、いっそうのご愛読をお願いいたします。(堤林)

【編集】会報部会/和田、堤林、高柳、篠塚、坂倉、岩城、増田

【事務局】電話:042-352-4178

E-mail: mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

